

## 電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2017年8月10日

No 356

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男  
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8  
電話(03)6421-5323 染野ビル2F  
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

# 非情！沖電気の障がい者解雇

7月9日(日)東京都内で沖電気は障がい者の解雇を撤回せよ！7・9集会を開催(16団体・45名参加)。続いて7月27日(木)には、沖電気本社(東京港区)への抗議・要請行動を展開しました。

2013年9月に契約社員としてOKIに入社したAさんは、緑内障が悪化(障害者手帳取得)して契約業務である現場代理人に必要な自動車運転ができなくなり、会社に障がい者雇用を申し入れました。しかし会社は事実無根の勤務成績を理由に拒否して2015年9月に雇い止め・解雇されました。沖電気は東京労働局からの「助言・指導」も無視し続けています。

集会には東京地評、全日本視覚障害者協議会(全視協)港支部、地元港区の労働組合や民主団体、各職場懇はじめ16団体45名の参加がありました。

東京地評の菊池組織局長は「労働局の助言・指導も守らないOKIはモラルハザード企業。解雇の理由もない不当なものであり連帯してたたかう」全視協の黒岩さんからは「横浜税関や東京12チャンネルでの障がい者解雇を職場労働組合と連携して雇用を守ってきた歴史を振り返り、共に解雇撤回までたたかう」との



連帯挨拶。たたかう本人からも「まじめに働いても契約社員は契約期間が来ればいとも簡単に切られる。それも途中で障がいが悪化したら即、雇い止めされる。法をすり抜けるOKIは許せない。再雇用の実現に向け頑張っていきたい」と力強い決意が語られました。各参加者からも共に連帯してたたかう発言が相次ぎました。OKIに対して「解雇撤回、再雇用を迫る集会決議」を採択しました。

連続して行われた7.27沖電気本社宣伝・要請行動にも16団体、42名を越す参加で宣伝チラシの配布と、東京地評、地元港区労連、全日本視覚障害者協議会(全視協)、日本航空不当解雇撤回争議団を始め参加団体からの訴えと要請が行われました。

＜沖電気の職場を明るくする会：相原＞

## 今月号の紙面

- ①非情！沖電気の障がい者解雇
- ②「厚労省1・20通達」調査
- ③電機連合定期大会議案について
- ④神奈川電機懇「年次総会」開催  
いの健東京センター第14回総会
- ⑤東京電機懇「年次総会」開催  
富士通FIPの大会代議員選挙
- ⑥ラプラス「家庭菜園」黍原さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第30回総会」開催案内  
「からむす」は編集集中、集積回路

